

# 北岳(大樺沢) 1985年6月2日

6月2日(快晴)

柿生から車で広河原に入る。広河原までは、大部分舗装されており、楽に入ることができた。駐車場にテントを張り仮眠する。6:15出発する。集中豪雨で流された橋は、新しく掛け替えられ、広河原小屋は、新築中である。天気予報では、曇りの予報であったが、ピーカンの最高の天気である。二俣付近から、ようやく雪がありアイゼンをつける。石垣氏はシールで登る。去年7月に来た時は、上部付近の雪は無く、岩がでていたと言う話であるが、今年は1ヶ月早いせいか、コルまで雪がついている。今回は、スキーガ目的のためユルで引返すことにする。12:40、滑降しようとしたのだが、丁度ガスが湧いてきて晴れるのを待つが、待っている時は仲々晴れないものである。少し晴れてきたので滑り出す。上部は、急傾斜であったが、グサグサの雪で転んでも止まるだろうとすることで滑る。中间付近は、雪解け水が流れた跡がありデコボコで滑りにくいが、何とか転びながらも滑り降りた。今回始めて行ったのですが、車で行けば、日帰りコースとして簡単に入ることができる、おすすめコースの1つでしょう。(猿田)

コースタイム 広河原 6:15 ニ俣 7:35 / 8:30

八本歯のコル 11:30 / 12:40 ニ俣 13:00 / 13:35 広河原  
14:34

メンバー L. 猿田次男、小森宮秀昭、橋本享、石垣隆宜、  
菅沼博、(5名)

